


岩屋城跡



指定区分	県指定史跡
読みかた	いわやじょうあと
所在地	津山市中北上
指定年月日	昭和62年4月3日
解説	<p>嘉吉元年(1441)に山名教清が築城したもので、天正12年(1584)には宇喜多氏による城攻めを防いだことでも知られる。その後天正18年(1590)に焼失し、廃城となった。山頂の本丸を中心に二の丸跡、三の丸跡をはじめ中世山城の遺構がよく保存されている。山腹には巨大な畝状堅堀群が設けられている。また、廃城とほぼ同時に廃寺となったと伝えられている慈悲門寺跡もある。</p>
アクセス方法	JR坪井駅から車10分
公開状況	自由
設備	<p>駐車場 </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	岩屋城跡
よみかた	いわやじょうあと
しょざいち (所在地)	津山市中北上
していしたひ (指定した日)	昭和62年4月3日
せつめい	美作地方(みまさかちほう)の代表的(だいひょうてきな)な山城(やまじろ)の跡(あと)です。建物(たてももの)などがあつた跡(あと)がよく残(のこ)されています。15世紀(せいき)中ごろに築(きず)かれましたが、戦国時代(せんごくじだい)の終わり頃に焼失(しょうしつ)しました。